

地軸

北極の神様どうか太陽を出してください。太陽さん顔を出してくださいと願いながら歩く。

願いがきいたのか昼ごろから太陽が出始めすばらしい快晴になった。北極の神がとびらを開けてくれたような気がした▲地球のてっぺん、北極点。1997年5月2日、伊方町出身の冒険家河野兵市さんが日本人初の単独徒歩到達に成功した。直筆の日誌が県生涯学習センター愛媛人物博物館に飾ってある（31日まで臨時休館）▲ひげをはやし、豪快なイメージのある河野さんだが、行程と共に心情がびっしりとつづられ、北緯90度の「点」へとたどり着く瞬間を記した日誌には、目的に向かって緻密に歩を進めた姿が刻まれる▲その河野さんが亡くなって20年になる。偉業達成の4年後、北極点から古里まで帰る旅の途中、北極海で遭難した。43歳、冒険家の集大成として臨んだ旅。愛媛が悲しみに包まれたことを思い出す▲冒険で河野さんは二つのことを伝えようとしていた。一つは、夢を持つことの大切さ。「自分のいる位置から一步踏み出す勇気が冒険」と常々語っていた。子どものみならず大人にも響く言葉だった▲もう一つは、温暖化という地球の危機的状況だ。北極の氷は当時既に減少がみられ、自然界の異変をいち早く感じていたようだ。20年、環境は悪化の一途をたどる。自然と調和して生きていくことが大事。勇気をくれた冒険家からの宿題に応えなければ、と思う。